

民 児 協

さやま

第 84 号

令和 8 年 6 月吉日発行

狭 山 市

民生委員・児童委員協議会

広 報 部 会

事務局

狭山市 福祉部 福祉政策課

電話 04-2937-7562(直通)

令和 7 年 12 月の一斉改選で、新任 59 名再任 140 名の、計 199 名の方が民生委員・児童委員を委嘱されました（その後の解嘱・委嘱で、令和 8 年 4 月 1 日時点で現数 210 名、欠員 35 名）。併せて狭山市民生委員・児童委員協議会の新しい役員体制が決まりました。

新体制での活動スタートにあたり、市内 11 の地区会長の皆さんに、それぞれの地区での民生委員・児童委員活動についての抱負や、地区の事情について寄稿いただきました。



令和 8 年度狭山市民生委員・児童委員協議会役員

役職	氏名	地区・部会
会長	木村 彰	入曽
副会長	松本 行雄	入間川東
副会長	後藤 良三	水野
会計	横山 悦子	入間川
会計	葉 京美	富士見
書記	朝倉 さち子	奥富
監事	本間 茂	堀兼
監事	河村 幸治	水富
理事	塩崎 昇	堀兼
理事	木下 昇	柏原
理事	先川 直子	水富
理事	川原 啓志	新狭山
理事	矢野 恭子	狭山台
理事	春日 基宏	生活福祉部会長
理事	柴田 裕美子	高齢者福祉部会長
理事	根岸 浩代	障害福祉部会長
理事	松川 和俊	児童福祉部会長
理事	前原 富士夫	広報部会長
理事	有村 純子	主任児童委員部会長
理事	朝倉 晴江	研修部会長

狭山市民児協会長

入曽地区会長

木村 彰

このたび狭山市民生委員・児童委員協議会の会長を拝命いたしました。



誠に光栄に存じますとともにその責任の重さに身の引き締まる思いです。

これまで長年にわたり会長として本協議会を牽引され、地域福祉の発展に多大なご尽力を賜りました藤野前会長に、心より深く感謝と敬意を表します。そのご功績は誠に大きく、私どもにとって大きな道しるべであります。

現在、狭山市においても高齢化が進み、高齢者支援の重要性は一層高まっております。見守りや声かけ、関係機関との連携を通じて誰もが安心して暮らせる地域づくりが求められています。今後はその志をしっかりと受け継ぐとともに、委員同士のつながりを大切にし「報告・連絡・相談（いわゆるホーレンソウ）」を基本として、委員がひとりで抱え込まないですむような活動を心がけてまいります。互いに支え合いながら、地域に寄り添った取り組みを進めてまいります。

微力ではありますが、皆様と力を合わせ、狭山市における地域福祉のさらなる充実に尽力してまいります。

また入曽地区においては、駅前施設が充実し便利になりましたが、その一方で高齢の方の移動手段や道路の安全など、交通面での心配も増えていると感じています。

こうした身近な課題にも目を向けていきたいと思っております。



入間川東地区会長

松本行雄



昨年 12 月の一斉改選により、6 名の委員が入れ替わり、総勢 23 名幸いにも欠員なしでスタートしました。

当地区は、狭山市駅周辺から東側が担当地域となり、狭山市のほぼ中央に位置し入間川地区、富士見地区をはじめ 7 つの地区と隣接しています。65 歳以上の高齢化率は 26%、15 歳未満の年少率は 11%で、狭山市駅周辺の開発もあり、市内では比較的若い年齢層の地区です。高層の集合住宅が多い反面、長年お住いの地元住民の方々も多い所で、日常の民生委員活動をする上では少しやりにくい面もあるかもしれません。

昨今、地縁の希薄化等、社会構造が変化しつつある中で、民生委員活動もそれに対応しなければなりません。やはり委員相互の信頼を高め、委員全員が楽しく活動できる環境を作るのも、大切だと思います。そして、より確かな地域社会づくりに少しでも貢献できればと考えています。

富士見地区会長

葉 京美



この度の改選で、富士見地区は、半数の委員が退任、7 名の新任委員が委嘱されました。

しかしながら、高齢者の増加の中で、まだまだ“欠員”の地域があり、目指す活動目標には、ほど遠いのが現状です。

私たちの地区は、自治会活動や見守り活動が比較的活発で、地域行事を通じた繋がりも大切にされています。一方で、高齢者の一人暮らし世帯の増加や子育て世代の孤立など、課題も見られます。こうした中、私たち民生委員・児童委員は身近な“相談相手”、地域の“つなぎ役”として、日常の声掛けや訪問活動を通じて信頼関係を築いてまいりました。

新体制では、これまで培ってきた力を活かしつつ、「できることを、できる範囲で、丁寧に」を合言葉に、それぞれの強みを生かしながら取り組んでいきたいと考えています。

また、委員同士が支え合い、情報を共有しながら、行政や関係機関と連携し、「安心して暮らせる地域」づくりに努めたいと思います。

入間川地区会長

横山悦子



入間川地区は、令和 7 年 12 月に 5 名の新任委員を迎えて 18 名でスタートしました。18 名ひとりひとりが経験豊かで力もあり、とても優しく頼もしいメンバーです。皆さんの協力のおかげで、私も何とか無事に会長の 4 年目に入りました。

委員全員の交流の機会は、年に一度の視察研修、春 4 月と新年 1 月の懇親会です。いつもの定例会では見られない、メンバーそれぞれの個性が光る一瞬が垣間見られて、大変楽しい時間です。今年 4 月の懇親会はカーレット（カーリングを卓上や床の上で楽しめるようにしたスポーツ）大会です。どのチームが優勝するのか、おたのしみです。

民生委員・児童委員の活動は、第 1 ブロックと第 2 ブロック 2 つの地区に分かれて、それぞれの地域に合った年間計画を立て、役割分担を決めて、友愛訪問などの活動をしています。時にはいろいろな問題に直面することもあります。悩みを話し合ったり、楽しい交流の時間を持ったりしながら、これからも知恵と力を出し合って活動を続けていきたいと思っています。

水野地区会長

後藤良三



水野民児協の会長に就任し 3 期目となりました。

コロナ以降世相は大きく変わり、民生委員を取り巻く環境も変化を余儀なくされました。そのような中でどのように活動をしていくかは、大きな悩みの種です。

民生委員には理念はあっても明確かつ具体的な活動区分はなく、ひとりひとりができる範囲で自分の活動範囲を決めていかなければならず、民生委員同士の情報交換が重要なポイントになってくると考えます。単位民児協としてはこのような情報交換の場を提供し、見守り活動がよりやりやすい環境や情報を提供していきたいと思っています。

地域においては高齢者の割合が増え、日々の見守りの割合が増える中、単位民児協としての取り組みが問われることになると思います。民生委員・児童委員を巡っては様々な問題が山積していますが、お互いに助け合い活動をしていきたいと思っています。

堀兼地区会長

塩崎 昇

過日、ひとり暮らしで過ごしている後期高齢者の方のお宅へ「お元気ですか訪問」にうかがいました。

ゆっくりお話しをしている中で、体調がすぐれず、つらい思いをされていることに気づきました。ご本人と相談しながら、病院を受診していただくことができ、必要な支援につながってほっとしています。

早めに気づけたことで、少しでも安心につながったのではないかと感じています。

民生委員・児童委員は、地域で暮らす皆さんのそばで、ちょっとした心配ごとや体調の変化にも寄り添う存在でありたいと思っています。どうか「気づきの心」を養いつつ、それを支援活動に活かしてほしいと思います。



柏原地区会長

木下 昇

柏原地区におきましては昨年 12 月の一斉改選により民生委員・児童委員 18 名中 9 名と、いつもより多く入れ替わりました。平均年齢も 3 年前と比べて 7 歳近く若返ったところです。

柏原地区の人口は現在約 11,300 人で、そのうち 65 歳以上は 4,200 人、高齢化率が約 37%で、狭山市の中で 3 番目に高齢化が進んでいる地域となっています。

私が民生委員になった 15 年前から考えると、民生委員・児童委員を取り巻く環境も大きく変わったように思います。以前は高齢者調査も対象者すべてを訪問し、事情をきいては困っている人を見つけての対応であったり、個人情報についても現在ほど厳しくはありませんでした。

今や団塊の世代が 75 歳以上となり高齢者人口がピークを迎え、介護予防活動やつなぎ役としての民生委員の対応も変化せざるを得ないように思います。

民生委員の活動方法も、今の時代にふさわしい方法を模索し、これから委員を引き受ける人がやりやすくなるように一步一步進めていけたらと考えています。



奥富地区会長

朝倉さち子

奥富民児協は現在民生委員・児童委員 8 名、主任児童委員 2 名計 10 名で活動しております。

奥富地域は「奥富ひなまつり」や「奥富かし祭り」等、地域の皆様が活発に活動、参加し、年齢を問わず活気にあふれています。

高齢者の皆様を対象に「友愛訪問」「茶話会」「配食サービス」等の活動を通して、地域の皆様との「出会い」に感謝し、委員同士の「和」を大切に、いつも「笑顔」を忘れないように心がけています。

私の一番の頑張りの素は毎朝の児童の見守り活動です。子どもたちとあいさつを交わすことで元気な一日がスタートできます。

今後も微力ながら頑張っていきたいと思っております。

地域の皆様、関係各位の皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



水富地区会長

先川直子

水富地区は総勢 30 名の大所帯ですが、現在は欠員 4 名の 26 名で活動しています。1 期で委員が交代する地区も多いため、3 年ごとに活動報告の記入方法等の研修を行っていますが、新委員にとっては見るもの・聞くものの全てが初めてのことばかり。

委員数が多いということは高齢者数も多いということで、元々が農村であり近隣に親族・親戚の多い地域と、つつじ野団地や日生団地のような大型開発による、近隣に地縁のない居住者の多い地域では、民生委員としての日々の活動もサポートする内容も自ずと異なり、誰かの報告例がそのまま活用できないのも、新委員にとっては辛いところです。

なお、地区内には、活動拠点である水富公民館の他に広瀬公民館があり、小学校は笹井小、水富小、広瀬小の 3 校があります。そのために、水富地区としての全員での活動以外に、各委員には居住地域による担当校区が割り当てられ、学校行事等の日程が重なる場合や登下校の見守り、各学校のアポック（地域防犯ネットワーク）パトロールには、担当校区のものに参加しています。



狭山台地区会長

矢野恭子

今期から狭山台地区民児協の会長に選任されました。

狭山台地区は新しい地域と思っていましたが、すでに開発が始まって 50 年。街が誕生し、成熟して、地域が一気に高齢化してきました。どの地区も同じですが、これはどうしようもないことです。この状況で民生委員ができることはそれほど多くはないかもしれません。でも私たちがいることで、少しでも地域の方に安心や笑顔をお届けできたらと思っています。

狭山台地区は現在 21 人で活動していますが、委員自身がやりがいや楽しさを感じられるような活動をしていきたいと思っています。

私たちはひとりではありません。多くの仲間、地域包括支援センター、市役所、社協などと協力して、地域の皆さんに寄り添っていける存在になれるよう活動していきましょう。



4 月 29 日、狭山市役所で開催された「狭山新茶まつり」では、会長さんたちが民生委員・児童委員の活動を来場者に紹介しました。



新狭山地区会長

川原啓志

新狭山地区は、他の地区に比べ歴史が浅く、川越・狭山工業団地を中心に 60 年ほど前に新しくできた街です。その新しい街にも少しずつ変化があり、大きな企業の移転とそれに伴う人の移動や、空き地の発生に、その土地の再利用などによる地域の変化に加え、高齢化も進み、元々民生委員・児童委員の定員が少ない中での成り手不足が深刻になっています。

それでも民生委員・児童委員としてできることはやっていく前向きな気持ちを失わず、協力し合いながら活動していけたらと考えています。

それと同時に、欠員の民生委員の補充に向けて、自治会とのコミュニケーションを密にしながら欠員解消ができればよいと思っています。

民生委員自身の健康に気を付け、日々の活動を頑張りたいと思います。



狭山市民生委員・児童委員協議会総会が開催されました

5 月 22 日、狭山市市民会館小ホールにおいて、令和 8 年度狭山市民生委員・児童委員協議会総会が開催されました。

出席者 150 名、委任状 50 名、合計総数 200 名で総会は成立し、議案はすべて原案どおり承認されました。



挨拶する木村会長

編集後記

一斉改選を経て広報部会のメンバーも新しくなりました。これからよろしくお願いします。

今号では、各地区会長さんたちの「熱い抱負」を語っていただきました。限られた誌面で、語り足りないことがみなさんたくさんあると思います。地区の定例会や、研修会等で、ぜひ直接お話を聞いてください。地区会長さんたちは民生委員・児童委員として豊かな経験と知見をお持ちです。民生委員・児童委員の活動で疑問や悩みが生まれたら、まずは会長さんに相談してください。いっしょに進む道を考えていただけたらと思います。

広報部会メンバー紹介（カッコ内は地区名）

前原 富士夫（入間川東）

中田 美登利（入間川）

山路 政幸（富士見）

阿部 優子（入曽）

荻野 章子（水野）

坂口 嘉弘（堀兼）

伊藤 精一（奥富）

近藤 貴美子（柏原）

田口 茂（水富）

宅明 千歳（狭山台）

